SHARP®

掃　除　機

取扱説明書

形名

イー　シー　エス　ティー

EC-ST6

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、右のように区分しています。

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

 「してはいけないこと」を表しています。

警告

電源や差込プラグ・コードは

禁止

- **電源コードや、差込プラグを破損させない。**
  - 回転ブラシの回転部分に巻き込ませない。
  - 傷付けない・重いものを載せない。
  - 無理に曲げない、引っ張らない・ねじらない・束ねない・挟み込まない・加工しない。

  (コードが傷み、火災・感電の原因)

- **ゆるんだコンセントは使わない。**
- **ぬれた手で抜き差ししない。**
- **差込プラグ・電源コードが傷んだ場合は使わない。**

  (感電・ショート・発火・けがの原因)

必ず実施

- **定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う。**
  (他の器具と併用すると、発熱して発火の原因)
- **差込プラグのほこりは定期的にとる。**
  プラグを抜き、乾いた布で拭く。
  (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)
- **差込プラグは、根元まで確実に差し込む。**
  (不完全な差し込みは、火災・感電・ショートの原因)
- **お手入れ・点検時には、必ず差込プラグを抜く。**
  (感電やけがの原因)

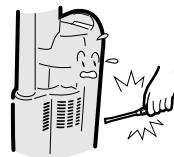
使用場所・ご使用時は

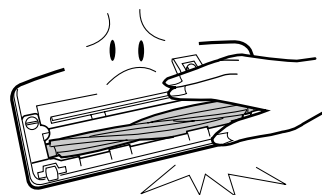
禁止

- **引火性のあるもののそばで使用しない、吸わせない。**
  - 灯油・ガソリン・線香
  - ベンジン・シンナー
  - タバコの吸殻
  - トナーなどの可燃物など

  (爆発や火災の原因)

- **水洗いや風呂場などでの使用、水の吸い込みは絶対にしない。**
  (感電やショート・発火の原因)
  ダストカップセット・回転ブラシは、水洗いできます。

- **絶対に分解したり修理改造しない。**
  (火災・感電・けがの原因)

- **回転ブラシや、ローラースイッチには触れない。**
  (手などにけがをする原因)
  とくにお子様にはご注意を。

お願い

 注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

 「しなければならないこと」を表しています。

注意

ご使用時は

- **排気口をふさがない。**
- **吸込口をふさいで長時間運転しない。**
  (過熱による、本体の変形・発火・火災の原因)

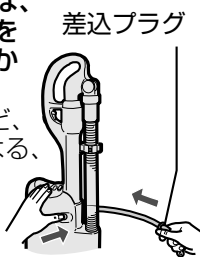
- **火気に近付けない。**
  (本体の変形による、ショート・発火の原因)

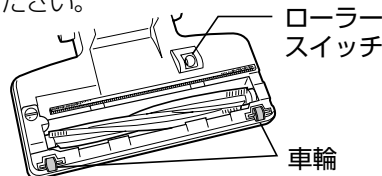
- **排気口に金属類・ピンなどを入れない。**
  (感電や故障の原因)

電源や差込プラグ・コードは

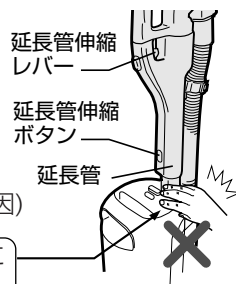
- **電源コードを巻き取るときは、差込プラグを持つ。**
  (プラグが当って、けがをする原因)

- **差込プラグを抜くときは、必ず差込プラグを持って抜く。**
  (感電やショートし、発火する原因)

- **使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。**
  (けがややけど、絶縁劣化による、感電・漏電・火災の原因)

吸込口(回転ブラシ)は

- **ローラースイッチ・車輪が摩耗していると、床面を傷めることがあります。**
  摩耗している場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

こんなことにもご注意を

- **はずした延長管は、伸ばしたまま本体に差し込まない。**
  破損の原因。(縮めかた 9 ページ)

- **本体スイッチを「入」にしたまま、延長管伸縮ボタンや延長管伸縮レバーを押さない。**
  (延長管が急激に縮み、指を挟むなどけがの原因)

本体の延長管差込口に手を置かない。

- **吸わせてはいけないもの。**
  (内部の傷付きやごみの詰まり・故障の原因)
  - 液体や湿ったごみ
  - ひも類
  - 鋭利なもの(ガラス・カミソリなど)
  - 大量の砂
  - 大きなごみ・大量のごみを一度に吸わせる
  - 細かい粉類
    (石こう・セメント・チョークなど。
    ・吸わせた場合は、各フィルターをお手入れする。12 ～ 14 ページ)

- **ダストカップセットを、はずした状態で運転しない。**

- **運転中、テレビの画面にノイズが発生することがありますが、テレビ本体に影響はありません。**

- **土間など土足で歩く場所を掃除しない。**

- **この掃除機は家庭用です。業務用としての使用はできません。**
  また、お掃除以外に使用しないでください。

各部のなまえと組み立てかた

付属品

― ホース
ホースはしなやかな材料を使用していますので、少し曲がりぐせがつくことがあります。

― ホースホルダー 8 ページ

― コードフック 6 ページ
(ホースホルダー裏面)

― ホースフック(延長管) 8, 9 ページ

― コード巻取りボタン 7 ページ

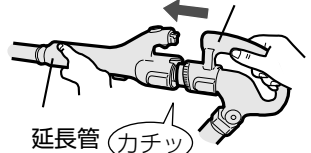
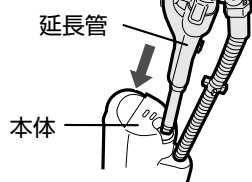
― 吸込口着脱ボタン
(裏面) 15 ページ

- 床面から離したまま、ローラースイッチに手を触れないでください。
  回転ブラシが高速回転し、危険です。

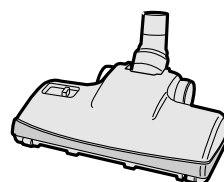
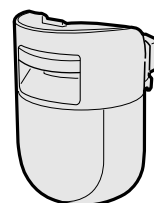
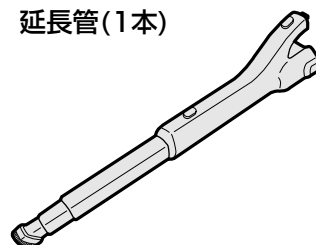
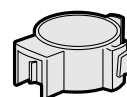
掃除機を組み立てる

1 吸込口を取り付ける。

穴とボタンを合わせて、「カチッ」と音がするまで差し込む。

2 ハンドルを延長管に差し込む。

3 延長管を本体に差し込む。

お願い 延長管は必ずすべて縮めてから本体に差し込んでください。(縮めかた 9 ページ)

4 ホースホルダーをホースフックに掛けホースをまっすぐにする。 8 ページ

吸込口(1個)

ダストカップセット
(本体装着　1個)

延長管(1本)

ホースホルダー
(ホース装着　1個)

印刷物付属品(各1部)

- 取扱説明書(保証書付)

※日本語以外の説明書はありません

お掃除のしかた

吸込口を使う

1 延長管を伸ばす。

延長管伸縮レバーを引きながら、
「カチッ」と音がするまで伸ばす。

**2 電源コードを引き出して
差込プラグをコンセントに差し込む。**

**3 吸込口を足で押さえながら
本体を傾ける。**

**4 吸込口の回転ブラシ切換レバーを、
お掃除の場所に合わせて切り換えて
本体スイッチを「入」にして
お掃除する。**

- 「入」
  じゅうたん·床
- 「切」
  たたみ

※本体スイッチを「入」にしたとき、
モーターの回転力で少し本体が左
に動きますが異常ではありません。

**5 お掃除終了後、本体スイッチを
「切」にして差込プラグを抜き、
ダストカップのごみを捨てる。**

10 ページ

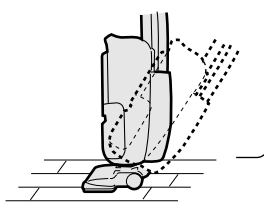
**電源コードをコードフックから
はずして巻き取る。** 7 ページ

6 延長管を縮める

延長管伸縮レバー
を引きながら
縮める。

お願い

- 本体スイッチを「入」にしたまま、延長管伸縮ボタン・延長管伸縮レバーを押さないでください。
  延長管が急激に縮み、延長管と本体の間で指を挟むなどけがの原因になります。
- お掃除後は延長管を伸ばしたまま収納しないでください。縮めるときは延長管と本体の間で
  指を挟まないよう、ご注意ください。

以下の条件で異音がすることがありますが、異常ではありません。
- ハンドルと延長管を本体に装着し、本体を立てた状態で、本体スイッチを「入」にしたとき。
- ハンドルと延長管を本体に装着し、運転中に本体を傾けた状態から立てた状態にしたとき。

じゅうたん

吸込口の回転ブラシ切換レバーを「入」にする。 6 ページ

お願い

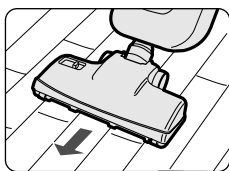
- はじめてお使いのときは、回転ブラシのかき出しでダストカップにじゅうたんの遊び毛などが多く吸い込まれますのでこまめにごみを捨ててください。

① まず一定方向に
② 次に直角方向に
③ 最後に残った隅をお掃除します。

床

吸込口の回転ブラシ切換レバーを「入」にする。

6 ページ

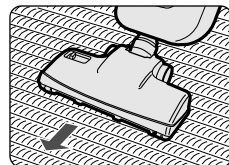
傷付き防止のため床の目にそって、軽くすべらせます。

お願い

- 新築などのワックスがけされた床は、吸込口の移動により光沢の差がでることがあります。
  その場合は絞った布で拭き取った後、ワックス拭きをし、乾燥させます。

たたみ

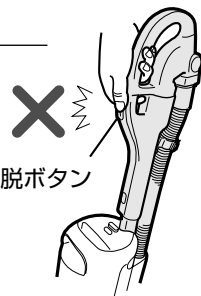
吸込口の回転ブラシ切換レバーを「切」にする。

6 ページ

傷付き防止のためたたみの目にそって、軽くすべらせます。

お願い

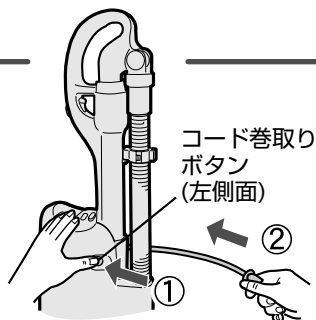
- 回転ブラシ切換レバーを、「入」にしてお掃除しないでください。
  強い回転で、たたみを傷付けることがあります。

お願い

- **吸込口でお掃除するときは、ハンドル着脱ボタンを押さないでください。**
  ハンドルがはずれて本体が倒れ、けがの原因になります。
- **お掃除のさい、吸込口を同じ場所で長く使ったり、強く押し付けないでください。**
  じゅうたんや床・たたみを傷めることがあります。
  ゆっくりと軽く前後に動かします。

電源コードの巻き取り

- 本体をしっかり固定し、差込プラグを持ってコード巻取りボタンを押します。
- 完全に巻き取れないときは、少し引き出しもう一度、押してください。

お願い

- 電源コードを引き出すときは、電源コード根元の赤マーク以上引っ張らないでください。断線の原因になります。
- 運転中、モーターの排気熱により本体や電源コードが熱くなりますが、異常ではありません。

お掃除のしかた

ベンリ手元ブラシを使う (棚・ソファーなどに)

1 ホースホルダーをホースフックからはずす。

ホースホルダー
ホースフック

2 ハンドル着脱ボタンを押しながらハンドルをはずす。

ハンドル
ハンドル着脱ボタン

ベンリ手元ブラシが自動的にセットされます。

ベンリ手元ブラシ
ブラシ伸縮ボタン

お願い
- ベンリ手元ブラシが出ない場合はブラシ伸縮ボタンを押して、ベンリ手元ブラシを前に出します。出さずに使うと故障や傷付きの原因になります。

3 差込プラグをコンセントに差し込み、本体スイッチを「入」にしてお掃除する。6 ページ

4 お掃除終了後、本体スイッチを「切」にしてから差込プラグを抜き、ダストカップのごみを捨て電源コードを巻き取る。
7，10 ページ

5 ブラシ伸縮ボタンを押しながらベンリ手元ブラシを元に戻す。

ブラシ伸縮ボタン
②
ベンリ手元ブラシ
①

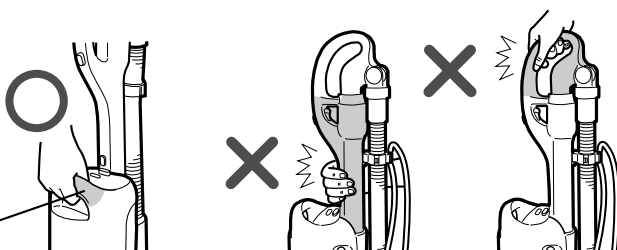
6 ハンドルを「カチッ」と音がするまで延長管に差し込む。

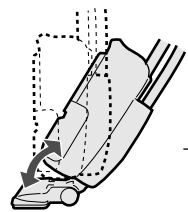
ハンドル
カチッ
延長管

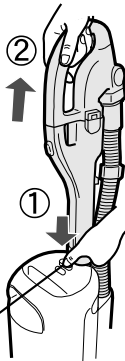
7 ホースホルダーをホースフックに掛けホースをまっすぐにする。

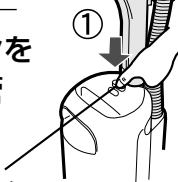
お願い

ベンリ手元ブラシや延長管でお掃除する場合、または持ち運ぶときには、必ず本体ハンドルを持ってください。
本体ハンドル以外のところを持つと本体が抜け落ちたり、倒れてけがの原因になります。

本体ハンドル

ベンリ手元ブラシ・ベンリすき間ノズルのご使用について(故障ではありません)

- 吸込口が倒れた状態でご使用になると、吸込力が弱まります。
- 回転ブラシ「入」状態でご使用中にベンリ手元ブラシ・ベンリすき間ノズルの吸込口が密閉された場合、回転ブラシが回転し音が大きくなることがありますので「切」で使うことをおすすめします。

延長管を使う (高い所・カーテン・家具のすき間などに)

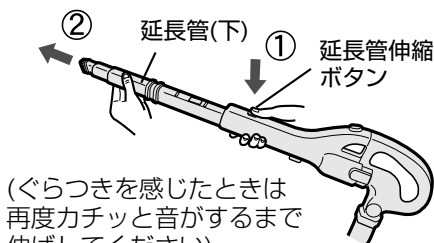
1
ホースホルダーをホースフックからはずす。 8 ページ

2
延長管着脱ボタンを押しながら延長管を引き抜く。

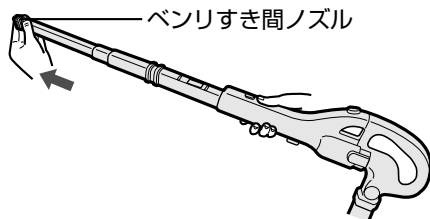
②
①
延長管着脱ボタン

3
必要に応じて伸ばす。

延長管(下)

2段階に伸ばせます

延長管伸縮ボタンを押しながら、「カチッ」と音がするまで伸ばす。(延長管伸縮レバー 4 ページ を引きながら伸ばすこともできます)

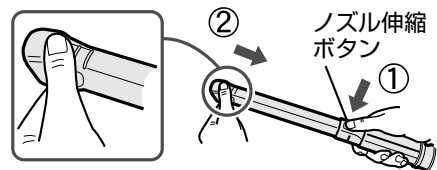
(ぐらつきを感じたときは再度カチッと音がするまで伸ばしてください)

ベンリすき間ノズル

先を「カチッ」と音がするまで伸ばす。

4
差込プラグをコンセントに差し込み、本体スイッチを「入」にしてお掃除する。 6 ページ

5
お掃除終了後、本体スイッチを「切」にしてから差込プラグを抜き、ダストカップのごみを捨て電源コードを巻き取る。 7，10 ページ

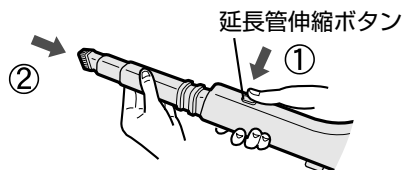
6
延長管を縮める。

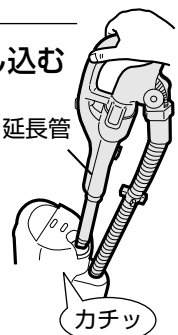
ベンリすき間ノズル

ノズル伸縮ボタンを押しながら、「カチッ」と音がするまで縮める。

- 指を挟まないように、先端を持ってゆっくりと縮めてください。

延長管(下)

延長管伸縮ボタンを押しながら縮める。(延長管伸縮レバー 4 ページ を引きながら縮めることもできます)

延長管伸縮ボタン
①
②

7
延長管を本体に差し込む

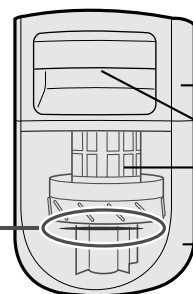
延長管は必ずすべて縮めてから本体に、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。縮めずに差し込むと破損の原因になります。

8
ホースフックにホースホルダーを掛け、ホースをまっすぐにする。 8 ページ

ごみの捨てかた

ごみはダストカップセットをはずして捨てます。

衛生面から、お掃除のつどごみを捨てることをおすすめします。

- **「ゴミ捨て」ラインを越える前にごみを捨ててください。一方に片寄って溜まる場合も、ラインを越える前にごみを捨ててください。**

  そのまま使用を続けると、筒型フィルターにごみが付着し、吸込力が低下する場合もあります。

ダストカップセットのはずしかた

1 **本体スイッチを「切」にして、差込プラグを抜く。**

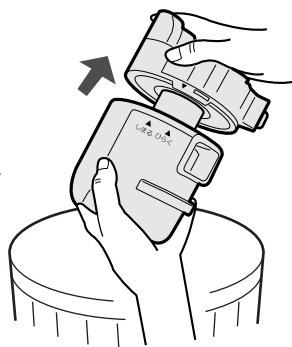
2 **カップハンドルを引き上げ、ダストカップセットをはずす。**

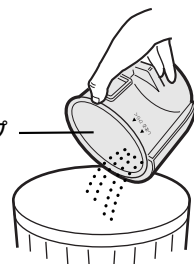
3 **カバー部を矢印方向(左回り)に回してカバー部を静かにはずす。**

- はずすときにごみがこぼれることがあります。
  ごみ箱や新聞紙などの上ではずしてください。

カバー部の▼とダストカップの▲(ひらく)を合わせてはずす。

① カバー部を矢印方向へ回すと

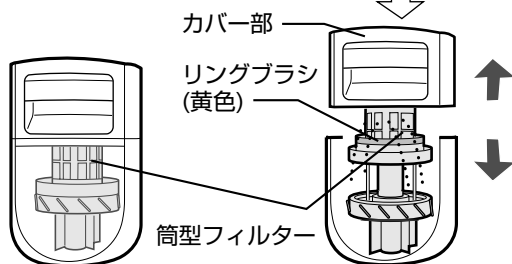
② カバー部が浮き上がりはずれます。

4 **ダストカップのごみを捨てる。**

- ダストカップをごみ箱の中へ近付けて静かに捨ててください。
  ほこりの舞立ちが防げます。

ダストカップセット

- カバー部
- カップハンドル
- 筒型フィルター
  (リングブラシ付き)
- ダストカップ

カバー部を数回手で押して、筒型フィルターをお掃除することもできます。

**筒型フィルター
セルフクリーニング**

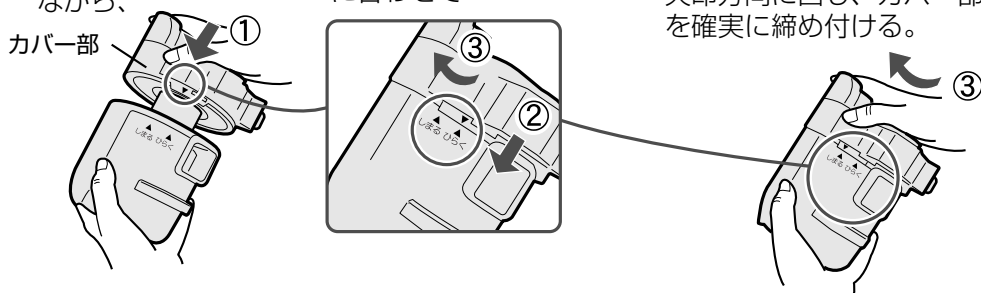
ダストカップセットからカバー部をはずしたときに、リングブラシが動き、筒型フィルターがお掃除されます。

ダストカップセットの取り付けかた

1 カバー部とダストカップを確実に組み立てる。

① カバー部をダストカップに押し込みながら、

② カバー部の▼印をダストカップの「ひらく」側に合わせて

③ カバー部の▼印をダストカップの「しまる」側の▲印まで矢印方向に回し、カバー部を確実に締め付ける。

お願い

- 必ずダストカップのごみを捨ててから組み立ててください。
  ごみが底にある状態ではカバー部が取り付きません。

2 ダストカップセットを本体に取り付ける。

ダストカップセットを本体に入れ、「カチッ」と音がするまでカップハンドル付近を押します。

お願い

- ダストカップセットは確実に取り付けてください。
  吸込力が低下したりモーターにごみが入るなど、故障の原因になります。
- ダストカップセットを本体に収納するときは、本体の収納部にごみや異物がない状態にしてください。

**筒型フィルターにティッシュ・髪の毛・ひも状の
ごみが巻き付いたら**

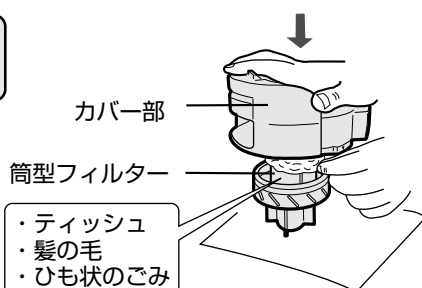
新聞紙などの上にカバー部を置き、カバー部を上から押してリングブラシが上にある状態で、筒型フィルターに巻き付いたごみを取り除きます。

お願い

- 取り除くさい、先のとがったものを使わないでください。筒型フィルターを傷めます。

カバー部

筒型フィルター

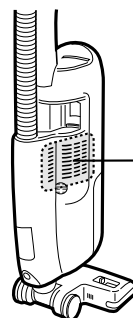
・ティッシュ
・髪の毛
・ひも状のごみ

お手入れ

お手入れのさいは、必ず本体スイッチを「切」にしてから、差込プラグを抜いてください。

本体外観 ▶ 外観の汚れが目立ってきたとき

水または、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。
ほこりが取れ、静電気も抑えられます。

お願い

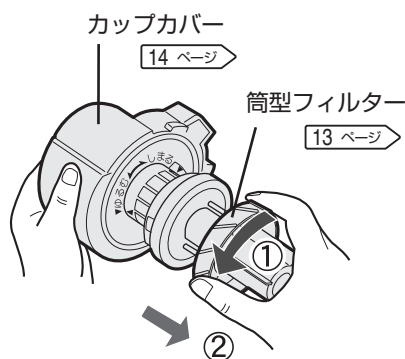
- シンナー・ベンジン類は使わないでください。変質や変色の原因になります。
- 本体フィルターは、お手入れの必要はありません。(取りはずしできません)

ダストカップセット 12 ～ 14 ページ

カップカバーと筒型フィルターを分ける/取り付ける

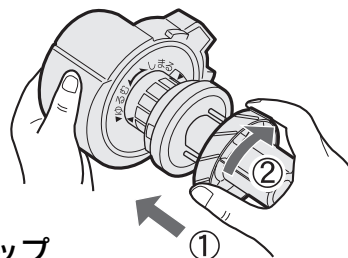
取りはずしかた

1 ダストカップセットを取り出し、カバー部をはずす。10 ページ

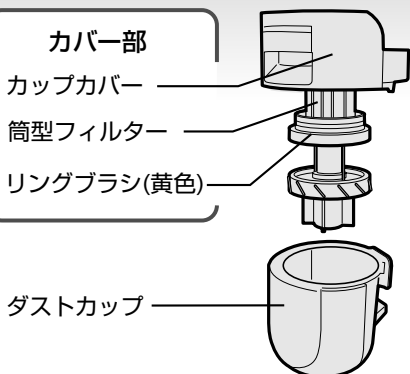
2 カップカバーと筒型フィルターに分ける。

① 筒型フィルターの▲印が、カップカバーの「ゆるむ」側の▼印に合うまで矢印方向に回して
② はずしてお手入れします。13 , 14 ページ

取り付けかた

1 カップカバーと筒型フィルターを取り付ける。

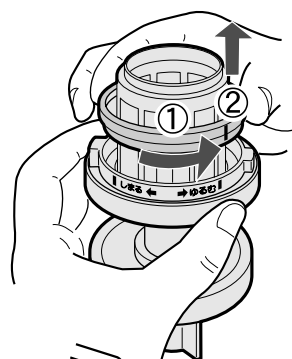
① 筒型フィルターの▲印をカップカバーの「ゆるむ」側の▼印に合わせて差し込み、
② 「しまる」側の▼印に合うまで矢印方向に確実に回します。

2 ダストカップにカバー部を取り付け、ダストカップセットを本体に取り付ける。11 ページ

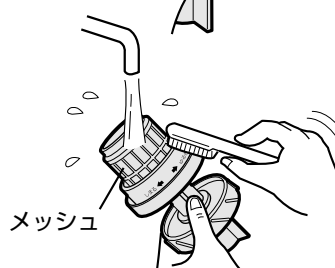
お願い

- 筒型フィルターを確実に取り付けないと、カバー部をダストカップに取り付けできません。

- 筒型フィルターやフィルター 14 ページ に、ごみやほこりが付着したまま使用すると、吸込力が弱くなることがあります。こまめにお手入れしてください。
- お手入れに薬剤・漂白剤や温水などを使用したりドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 各部品を洗ったあとは、十分に乾燥させてから使用してください。
  水分が残った状態で使用すると、臭いの発生や故障の原因になります。

筒型フィルター・リングブラシをお手入れする▶ 月2回を目安に・中性洗剤で洗う

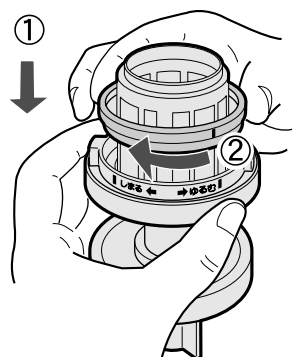
1 カバー部をカップカバーと筒型フィルターに分け、12 ページ 筒型フィルターからリングブラシをはずす。

① リングブラシの ▮ 印を「ゆるむ」の方向に回し、
② 筒型フィルターの ▮ 印まで合わせて引き抜きます。

2 筒型フィルターとリングブラシのごみを取り、中性洗剤で洗う。

筒型フィルターのメッシュ部は古い歯ブラシなどでやさしくこすってごみを落とします。
リングブラシに付着した髪の毛や、糸くずなどのごみも取ってください。
筒型フィルターにティッシュや、ひも状のごみが巻き付いた場合は 11 ページ

3 筒型フィルターとリングブラシを十分に乾燥させる。

十分に水を切り、風通しの良い所で陰干しし、乾燥させてください。
乾燥が不十分のまま使用すると、においが残ることがあります。

4 筒型フィルターにリングブラシを取り付け、筒型フィルターをカップカバーに取り付ける。12 ページ

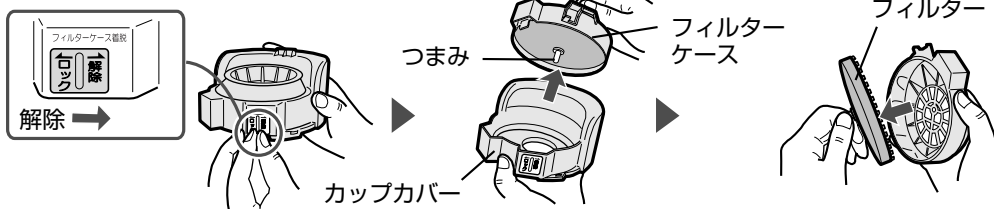
① 筒型フィルターの「ゆるむ」側の ▮ 印とリングブラシの ▮ 印を合わせてはめ、
② リングブラシ(黄色)の ▮ 印を「しまる」の方向に回して筒型フィルターの ▮ 印に合わせます。

お願い
- リングブラシを確実に取り付けないと、カップカバーをダストカップに取り付けできません。

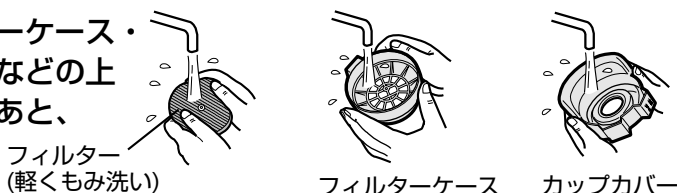
お手入れ

お手入れのさいは、必ず本体スイッチを「切」にしてから、差込プラグを抜いてください。

カップカバーとフィルターをお手入れする ▶ 月1回を目安に・水洗い

1 **カバー部をカップカバーと筒型フィルターにわけたあと、**12 ページ **カップカバーからフィルターケースとフィルターをはずす。**

① フィルターケース着脱レバーを「解除」方向に動かす。
② フィルターケースとカップカバーを分ける。
③ フィルターのつまみを持ちフィルターケースと分ける

2 **フィルター・フィルターケース・カップカバーを新聞紙などの上に置いてごみを取ったあと、水洗いする。**

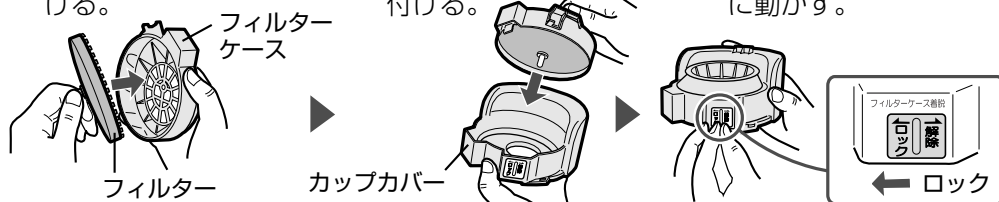
フィルター
(軽くもみ洗い)

フィルターケース

カップカバー

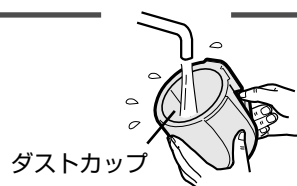
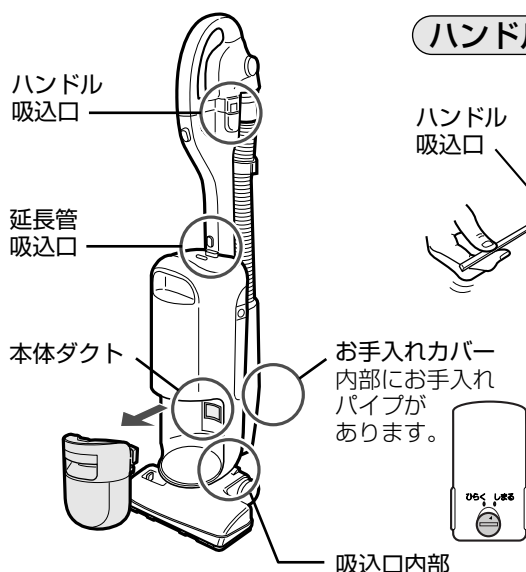
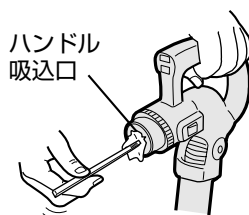
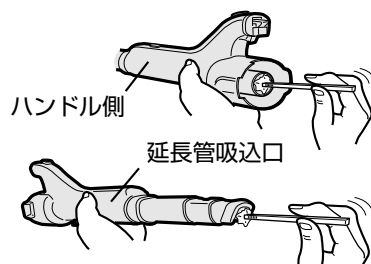
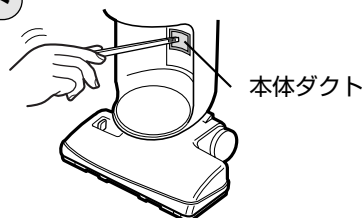
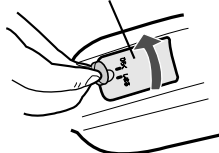
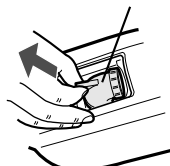
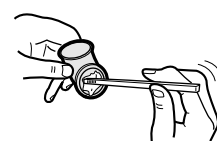
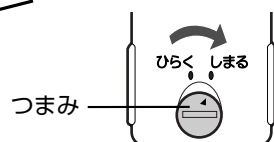
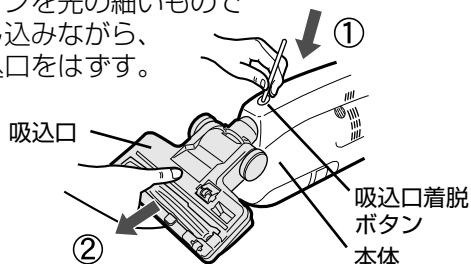
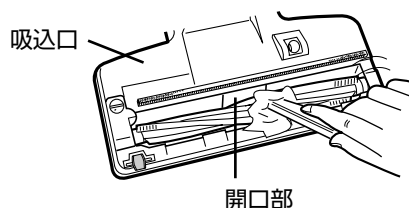
3 **フィルター・フィルターケース・カップカバーを十分に乾燥させる。**

十分に水を切り風通しの良い所で陰干しし、乾燥させてください。
乾燥が不十分のまま使用すると、においが残ることがあります。

4 **フィルターをフィルターケースに取り付け、フィルターケースをカップカバーに取り付けたあと、カップカバーと筒型フィルターを組み立てる。**12 ページ

① フィルターをフィルターケースに取り付ける。
② フィルターケースをカップカバーに取り付ける。
③ フィルターケース着脱レバーを「ロック」方向に動かす。

● フィルターの取付方向と入れ忘れに注意してください。

ダストカップをお手入れする ▶ 月1回を目安に・中性洗剤で洗う

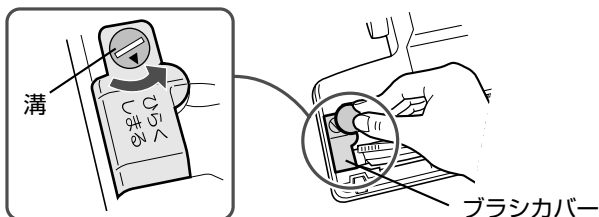
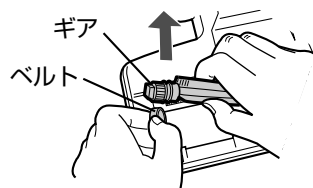
- 洗ったあとは乾いたやわらかい布で水分を拭き取ります。
  ダストカップと透明窓の間に水滴が残ることがありますが、そのままご使用いただけます。
- 毛の堅いブラシで洗わないでください。表面を傷付けます。

本体内部・吸込口内部 ▶ ごみが中に詰まったとき

お手入れ

お手入れ

お手入れのさいは、必ず本スイッチを「切」にしてから、差込プラグを抜いてください。

吸込口・回転ブラシ ▶ 糸くず・毛髪などがからみついたときなど

1 吸込口を裏返して 回転ブラシをはずす。

① 溝をコインなどで「ひらく」まで回して、ブラシカバーをはずします。
- 爪で回さないでください。けがをすることがあります。

② 回転ブラシを少し持ち上げてベルトをギアからはずしてから、回転ブラシをはずします。

2 開口部や回転ブラシ・車輪などに付いた 糸くずや毛髪・紙くずなどを取り除く。

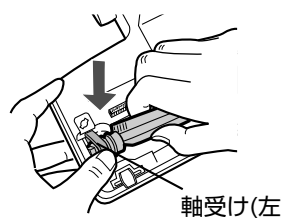
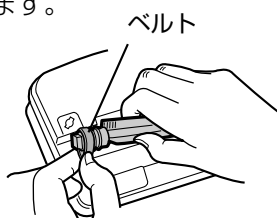
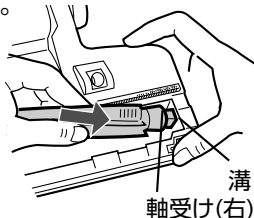
回転ブラシは汚れが気になる場合、水洗いすることができます。水洗い後は、乾いた布で水を拭き取って陰干しし、十分に乾燥させてから取り付けてください。

- 車輪は絞った布で拭いてください。
- から拭きブラシ・エチケットブラシに付着したごみも、取り除いてください。
  糸くずなどがからみ付いたときは、セロハンテープなどではがし取ってください。
- 水洗いのさい、温水や毛の硬いブラシを使わないでください。

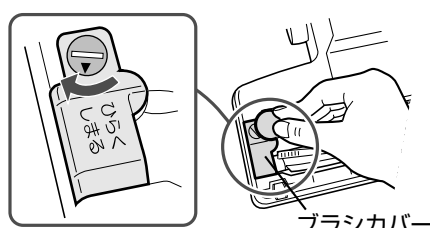
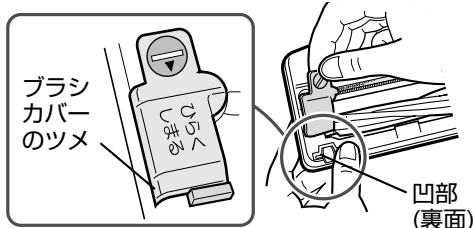
3 回転ブラシを取り付ける。

① 軸受け(右)を溝に入れます。

② ギアにベルトをかけます。

③ 軸受け(左)を溝に入れます。

4 ブラシカバーを閉める。

① ブラシカバーのツメを吸込口裏面の凹部に掛けて、取り付けます。

② コインなどで「しまる」まで回して、ブラシカバーを閉めます。

お願い

- 糸くずやひもなどを吸い込ませないでください。回転ブラシにからんで、故障の原因になります。
- 回転ブラシに注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。
- 吸込口は水洗いしないでください。故障の原因になります。

仕様

電　　　源	100V　50-60Hz
消費電力	750W
吸込仕事率	260W
運　転　音	62dB
集じん容積	0.7L
質　　　量	3.9kg (吸込口・延長管・ホース・本体含む)
本体寸法(mm)	使用時 幅239×奥行230×高さ1,005 収納時 幅239×奥行230×高さ873
コードの長さ	5m

※吸込仕事率とは、JIS規格に定められている吸込力の目安で最大値を表示しています。
使用時の吸塵力は吸込仕事率以外に吸込具の種類や床材の違いなどによって異なります。
お掃除のさいは、ふさわしいポジションをお選びください。

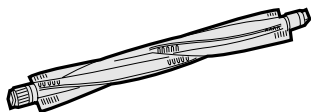
別売部品

フィルター
流通コード　217 337 0381

ダストカップ
流通コード
EC-ST6-N(ゴールド系)
217 137 0184
EC-ST6-S(シルバー系)
217 137 0185
EC-ST6-A(ブルー系)
217 137 0186

筒型フィルター
(リングブラシ付き)

流通コード
217 407 0016

回転ブラシ
流通コード
217 310 0201

お手入れパイプ
流通コード
217 332 0084

お買いあげの販売店または、お近くのシャープ製品取扱店でお買い求めください。
(価格については、販売店にお問い合わせください)

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは 持込修理

1. 「故障かな?」19ページ を調べてください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。
3. お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書(一体)

- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

- 修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は掃除機の補修用性能部品を製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

長年ご使用の掃除機の点検を!
このような症状はありませんか?
- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したりしなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止
故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- ●製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談センター** へ
- ●製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

●**修理相談センター** (沖縄・奄美地区を除く)

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後8時　＊日曜・祝日：午前9時～午後6時 (年末年始を除く)

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
(注)・PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●PHS／IP電話でのご利用は………	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
●FAXを送信される場合は…………	(ＦＡＸ)	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ 「**持込修理**」および「**部品購入**」のご相談 は、上記「**修理相談センター**」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)
〔ただし、沖縄･奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札　幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙　台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東　京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多　摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千　葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横　浜 テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静　岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金　沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京　都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大　阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪　神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広　島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高　松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福　岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那　覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

0120-078-178

●フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	043-351-1821	043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	06-6792-1582	06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

●FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。　(0611)

故障かな?

次のような場合は、故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
以下の処置をしても異常のある場合は、「保証とアフターサービス」17 ページをご覧のうえ、修理を依頼してください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● 本体スイッチを入れても動かない	● 差込プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	● しっかり差し込んでください。
● 吸込力が弱い	● ダストカップにごみが溜まっていませんか。 ● 筒型フィルターが目詰まりしていませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。	● お手入れしてください。 10 ～ 14 ページ
	● 本体・延長管・吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。 15 ページ
● コードが巻き取れない	● コードが片寄って巻き取られたり、よじれていませんか。	● 少し(1～2m)引き出して、再度巻き取ってください。
● 差込プラグおよびコードが異常に熱い	● 差し込みがゆるく、ぐらついていませんか。	●販売店にコンセントの修理をご相談ください。
	● 延長コードを使用していませんか。 (差込プラグおよびコードはモーターの排気熱で通常40℃程度になりますが、異常ではありません。)	● 延長コードをやめ、コンセントに直接差し込んでください。
● 吸込口の動きが悪い	● 車輪に毛髪などが巻き付いていませんか。	● 毛髪などを取り除いてください。 16 ページ
● ダストカップセットが本体に取り付かない。	● 本体のダストカップセット取付部付近に、ごみが溜まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。 10 ,11 ページ
	● ダストカップセットが正しく組み立てれていますか。 ・フィルターケースやフィルターの入れ忘れ、取り付け方向間違いはありませんか。 ・フィルターケース着脱レバーが「解除」になっていませんか。	● 正しく組み立ててください。 10 ～ 14 ページ
● 回転ブラシが回転しない ● 回転ブラシが止まる	● ダストカップにごみが溜まっていませんか。	● ごみを捨ててください。10 ,11 ページ
	● 筒型フィルターや、フィルターが目詰まりしていませんか。	● 各フィルターをお手入れしてください。 12 ～ 14 ページ
	● 本体・延長管・吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。 15 ページ
	● 回転ブラシに異物が巻き付いていませんか。	●異物を取り除いてください。 16 ページ
● 本体や排気が臭う	●ダストカップにごみが溜まっていませんか。 (ごみの種類によっては臭う場合があります)	● ごみを捨ててください。 10 ページ
	●筒型フィルターやフィルターを水洗いた後、十分に乾かしていますか。	● 再度、各フィルターを水洗いし十分に乾いてから、ご使用ください。 13 ,14 ページ
● 運転中に異音がする	●ハンドルと延長管を本体に装着し、本体を立てた状態で、本体スイッチを「入」にしたとき。 ●ハンドルと延長管を本体に装着し、運転中に本体を傾けた状態から立てた状態にしたとき。	▶ 異常ではありません。

使用中に本体の運転が停止する。電源が入らない。
本体保護のため、筒型フィルターが目詰まりした場合なども自動停止装置がはたらき、運転が止まります。
約1時間後に自動停止は解除され使用できますが、その前に次の処置をしてください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● 本体の運転が止まる	● 筒型フィルターが目詰まりしていませんか。 ● ダストカップにごみが詰まっていませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。	● お手入れしてください。 10 ～ 14 ページ
	● 本体・延長管・吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。 15 ページ

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

掃除機 EC-ST6

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ

シャープのサイクロンは、独自の高速旋回方式でごみと空気を遠心分離。　空気をきれいにして、フィルターの目詰まりを抑えるのでごみが溜まってもパワーが持続し、電力の無駄を抑えます。紙パック方式は、ごみが詰まり空気の流れが妨げられるため、吸込力が低下しやすくなります。

掃除機の省エネのための上手な使いかた

◎掃除機をかける前にまずお部屋の片付けを！

掃除機をかけながら、部屋の片付けをおこなうと、スイッチの「入」「切」をくりかえすことになり消費電力が多くなります。お掃除の前に部屋を片付け、一気に掃除機をかけると短時間で効率よくお掃除ができます。

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター
0120-078-178

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…
東日本相談室 TEL 043-351-1821 FAX 043-299-8280
西日本相談室 TEL 06-6792-1582 FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜 ～ 土曜：午前9時 ～ 午後6時
日曜・祝日　：午前10時 ～ 午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…

18ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ

http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　社 〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町22番22号

電化システム事業本部 〒581-8585
大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in China
TINSJA350VBRZ 06L－ CN ①

掃除機 EC-ST6

取扱説明書